

TAOISM PHILOSOPHY

!?

キ

稽古照今 という生き方

過去を学び、今を照らす

11のまもどお…!!




古の知恵、揺るぎない土台

もっと
成功したい!

早く
成長したい!
稼ぎたい!

でも、なぜ
いつも同じミスを
繰り返すんだ…!?

多くの人は未来ばかりを見ます。しかし、その多くが足元を見失っています。
なぜか? ——「過去」を軽視しているからです。

A man with a topknot, wearing a yellow and blue kimono, points his right index finger forward. His hand is surrounded by a bright, radiating glow of light rays. The background consists of horizontal lines, suggesting a sense of depth or focus.

古(いにしえ)を稽(かんがえ)、
今を照らす。
『稽古照今(今)』じゃ。

足元を
見失ってるぞ！

A close-up of a young man's face. He has wide, blue eyes and a shocked expression, with sweat drops on his forehead. A jagged speech bubble is next to him.

ハッ！

TAOISMではこの言葉を、単なる教養
ではなく「生き方」として捉えます。

本質とは

歴史

文化

哲学

失敗と成功

過去にはすでに膨大な知恵がある。これ人類が人類が積み重ねてきたきた『データ』じゃ。

にもかかわらず、それを学ばずに新しいことだけを追い求める。これは極めて非効率です。

もう一つの罠



過去に縛られることも
また問題じゃ。それでは
時代に残されるぞ。

伝統への固執

変化の拒絶

変化の拒絶

古い成功体験

だから重要なのは「バランス」

稽古照今 / 温故知新

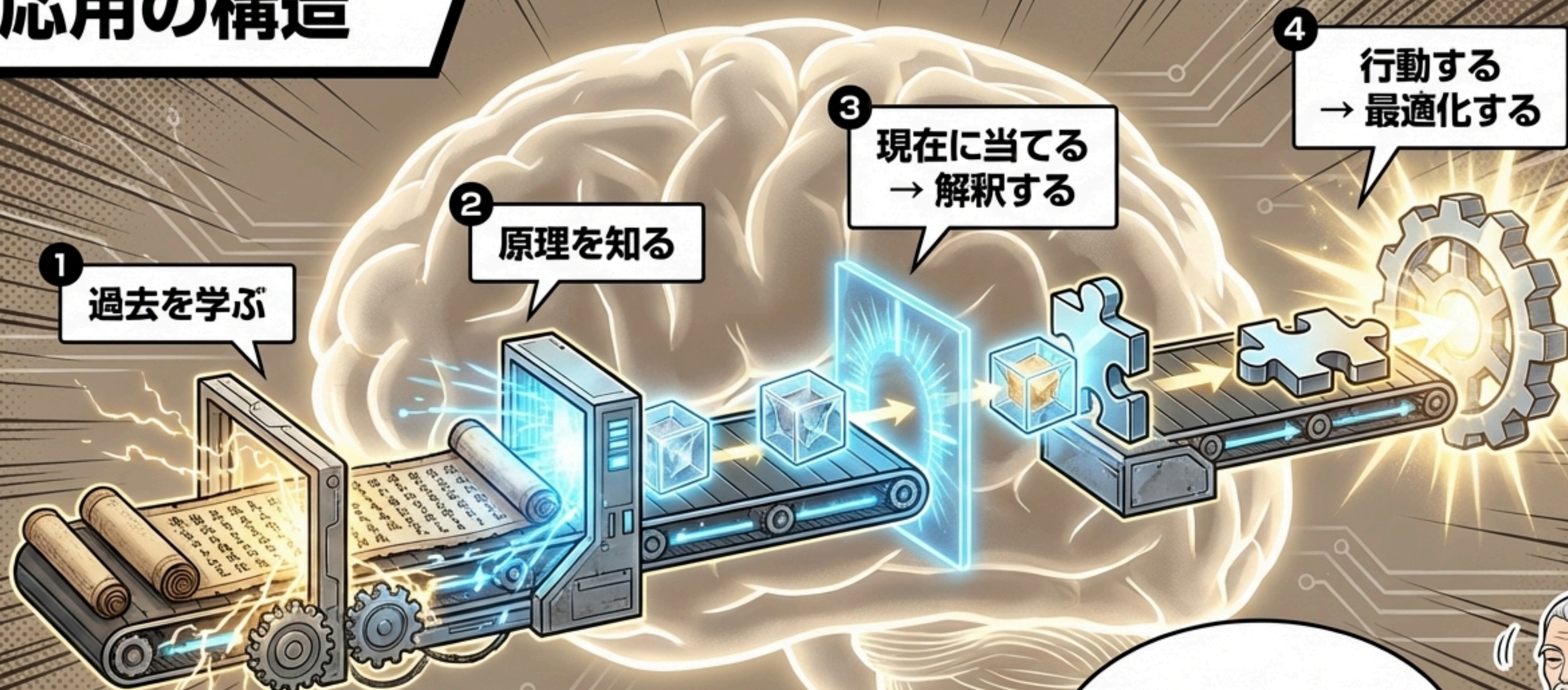
未来への焦り

過去への固執

古きを知り、新しきを創る

過去をそのまま再現することではありません。
過去をヒントに、「今に最適化」することです。

応用の構造



この流れが、
過去を今に活かす
『理屈』じゃ。





【投資】過去の金融危機やバブルから学ぶ → 現在の市場を冷静に見る



【ビジネス】過去の成功や失敗を知る → 同じ過ちを避ける



【人間関係】歴史や哲学を学ぶ → 人の本質を理解する

すべては繋がっています。

稽古照今の「実践」

外への実践



- ・歴史を学ぶ
- ・先人の知恵に触れる
- ・事例を蓄積する

内への実践



- ・自分の過去を振り返る
- ・選択の理由を考える
- ・失敗と成功を言語化する

TAOISMではこれを「自分の歴史」と呼びます。
自分という存在もまた、過去の積み重ね。ここを見ずに未来を語ることはできません。

気づき

そうか…!
同じ過去でも、
解釈で意味が
変わるんだ!

失敗

学び

過去は変えられません。
しかし『意味』は変えられます。

失敗をただのミスと捉えるか、学びと捉えるか。
ここで重要なのは「**解釈**」です。

自己診断

「自分は過去を
活かしているだろうか？
胸に手を当てて
考えてみるんじゃ。」



ただ「思い出」として
消費していないだろうか？



同じパターンを
繰り返していないだろうか？



過去と向き合うことを
避けていないだろうか？



TAOISMは「整える」思想



その中心にあるのが、稽古照今です。
未来だけを見て走るのではなく、過去を学びながら進むこと。

それが最も安定し、最も強い成長の形です。

本質を見抜き

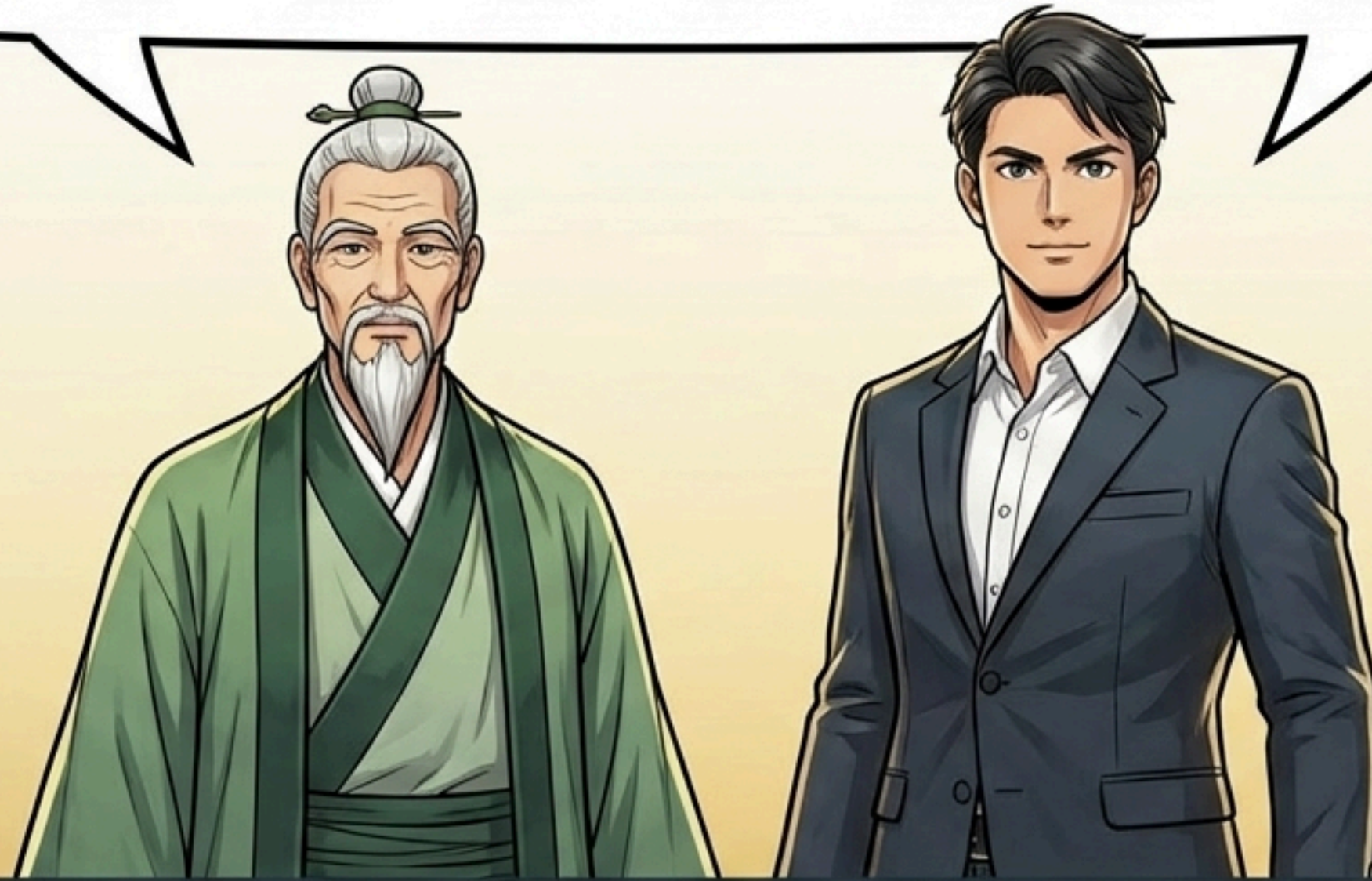
理屈を理解し

徳を磨き

共同体と共に歩む



「あなたは過去から何を学んでいるか。」
「そしてその学びを、今に活かせているか。」



その問いに向き合うことが、道を歩む第一歩となる。